

# 2012年度派遣 国際文化教育交流財団 日本人海外派遣奨学生 募集要項

2011年3月  
(財)国際文化教育交流財団

国際文化教育交流財団は、文化・教育面における国際交流を通じて、わが国と諸外国との相互理解と友好・親善を増進することを目的として、1976年に設立された。

当財団では国際文化教育交流事業の一環として、当財団基本財産の運用果実、独立行政法人日本万国博覧会記念機構および社団法人東京倶楽部の助成金により下記の奨学生の募集を行う。

## 1. 募集人員（海外の大学または大学院への留学生）

- (1) 国際文化教育交流財団奨学生（専攻分野、留学先国ともに不問）：3名
- (2) 日本万国博覧会記念機構助成奨学生（環境関連分野を専攻する者。留学先国不問）：若干名
- (3) 東京倶楽部奨学生（専攻分野不問。イギリスに留学する者）：1名

※ 上記(1)～(3)ともに、以下の事項共通。(2)および(3)については、採用時に決定し、支給内容については国際文化教育交流財団の規定に準ずる。

## 2. 奨学金支給対象期間

2012年秋の新学期からの在学期間中（最長2年）

## 3. 奨学金支給内容（詳細については別途規定）

- (1) 留学先において必要とする授業料（実費）
- (2) 留学先学期開始前の現地における語学研修費（2010年度は上限1,500米ドル相当）
- (3) 生活費補助（定額：2010年度は1,000米ドル／月相当）
- (4) 教材費（定額：年間で(3)の生活費2ヵ月分相当）
- (5) 渡航および帰国に要する旅費（エコノミークラス実費）

## 4. 応募資格

- (1) 日本国民（外国籍を併せて有する者を除く）
- (2) 財団の指定するわが国の大学院に、2011年4月、2012年4月の両時点で在学している者（研究生は不可）
- (3) 2012年3月31日現在において在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者
- (4) 学業、人物ともに優秀であって、広く社会に貢献する意志を持ち、将来、研究者として活躍することが期待される者
- (5) 国際理解およびわが国と諸外国との友好、親善の推進に寄与できる者
- (6) 留学先の公用語による意思伝達が十分可能な者
- (7) 健康状態が良好な者
- (8) 海外の大学または大学院に留学した経験がない者
- (9) 他の奨学金を受ける予定がない者（併願は可）  
(留学先大学で授業料の減免を受けること、生活費の助成を受けることは可。但し、生活費の助成を受けている期間に当財団から生活費を併給することは不可)

(10) 英語圏へ留学希望の場合、TOEFLの成績が580点(iBT92点)以上であること。

英語圏以外への留学希望者で、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD(ドイツ語)、DAPF(フランス語)等の試験をあらかじめ受験していること。

語学検定試験のない言語の場合は、語学力を客観的に証明する書類を添付すること(和文、英文以外の書類には、和訳を添付すること)。

## 5. 応募書類の提出(応募者全員分を大学でとりまとめてお送りください)

(1) 提出書類: 応募書類は選考に際し、委員に配布します

a. 願書(別紙様式、上部に5×4 cmの上半身・脱帽・3カ月以内に撮影の写真貼付)

日本語および英語

各1部

b. ①学長または研究科長の推薦状と②主任教授の推薦状

日本語(A4判、横書きで各2枚以内)

各1部

c. 大学および大学院における学業成績証明書

(学部から現在までの成績をすべて含めること)

各1部

d. 2009年9月以降受験の語学検定試験成績証明書写しまたは語学力証明書

(TOEFL成績証明書は顔写真入りのものをA4版に片面コピーすること)

e. 研究内容の概要

(自分の専攻するテーマおよび留学先で専攻しようとするテーマについて簡潔にまとめること)

日本語と留学先の公用語(A4判、横書きで各2枚以内)

各1部

f. 2010年10月以降発行の健康診断書

g. 戸籍抄本

(2) 締切期日: 2011年9月20日(火) 必着

(3) 提出先:

(財)国際文化教育交流財団

〒100-8188 東京都千代田区大手町1-3-2 日本経団連 内

TEL 03-6741-0162 (財団事務局直通)

## 6. 選考方法

(1) 第一次選考: 書類選考

(2) 第二次選考: 日本語と留学先の公用語による面接

11月中~下旬(予定) 於 経団連会館(東京・大手町)

## 7. 選考結果の通知

選考結果は大学、応募者双方に通知する

## 8. その他

(1) 応募書類は返却しない

(2) 留学を希望する大学(大学院)への出願は応募者が各自で行うこと

(3) 奨学生に採用された者が応募資格を満たさなくなった場合および大学(大学院)への入学を許可されなかった場合には奨学生としての資格を失う

以 上